

公益財団法人 檜の芽会 御中

## 伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

|         |                     |        |                |
|---------|---------------------|--------|----------------|
| 【団体の概要】 |                     | ① 作成日  | 令和 7 年 4 月 1 日 |
| ②法人・団体名 | 高槻つばめ学習会            |        |                |
| ③所 在 地  | 〒569-1121<br>大阪府高槻市 |        |                |
| ④責任者氏名  | 大西幸夫                | (役職名等) | 代表             |
| ⑤担当者氏名  | 大西幸夫                | (役職名等) | 代表             |

|           |                           |       |       |          |      |
|-----------|---------------------------|-------|-------|----------|------|
| 【奨学活動の概要】 |                           |       |       |          |      |
| ⑥助成交付決定番号 | R06-001                   | ⑦助成金額 | 40 万円 | ⑧申請カテゴリー | 任意団体 |
| ⑨奨学活動名    | 経済的な理由で通塾出来ない生徒への無料学習支援活動 |       |       |          |      |
| ⑩主な実施場所   | 高槻市城内公民館など                |       |       |          |      |

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

①毎・土曜日の学習支援（午後 1 時～5 時）

②教材、模試代、英検受検料などの援助

③PC・タブレットの貸し出しによるオンライン学習対応、Cloud を活用したオンライン連絡帳の活用

④保護者へのサポート（中 3 生には 2 者懇談を実施、学習相談・情報提供を行なった）

⑤外国ルーツ生(ネパール)の英数及び日本語指導

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

| 支援対象   | 延べ人数<br>(A : 人) | 平均時間<br>(B : 時間) | 活動量<br>(A x B) | 備考・補足 |
|--------|-----------------|------------------|----------------|-------|
| 中学生等   | 518             | 4                | 2,072          |       |
| 高校生等   | 8               | 3                | 24             |       |
| 大学生等   |                 |                  |                |       |
| 学習支援員等 | 530             | 5                | 2,650          |       |
| その他    | 61              | 3                | 183            | 小 6   |
| 合 計    |                 |                  | 4,929          |       |

\* 2024 年 7 月～2025 年 3 月末までの実数

⑬その他の定量的な数値（任意）

## 令和 6 年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

**奨学活動名：**経済的な理由で通塾出来ない生徒への無料学習支援活動

法人・団体名：高槻つばめ学習会

作成者 氏名：大西幸夫

### 1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

- ①定例の土曜学習会の円滑な運営⇒講師増員による個別指導の安定的拡大
- ②外国ルーツ生(ネパール人姉妹)の受け入れー日本で生活できるだけの日本語力・学力を付ける体制確立
- ③X・Facebook など SNS を活用した生徒勧誘活動の強化

### 2. 実施した奨学活動の詳細 (2024 年 7 月～2025 年 3 月)

©2024 年 7 月 27 日 夏の勉強合宿 Part 1 朝から夕方まで勉強漬け。宿題も講師と一緒に片付けます。



©2024 年 7 月 27 日 夏の勉強合宿 Part 1 プログラミング教室も開催



関東の企業から寄贈いただいたリース切れ「Let's Note」  
卒業時に生徒へ譲渡する予定を前倒し。関心のある生徒には逐次譲渡。

生徒の保護者も PC を使うようになるという副次効果もあり、家庭の  
IT リテラシー向上が図れれば嬉しい限り。

©2024 年 8 月 17 日 ネパール人姉妹が見学に(写真手前の 2 人)

学校でのケアは不十分で「日本の学校で何とかやれる日本語力と英数の基礎学力」を付けてもらえるように、  
会としては全力での対応を約束。



©2024 年 8 月 24 日 夏の勉強合宿 Part 2



©2024 年 8 月 31 日 和室しか取れない時の学習風景 寺子屋風情だが腰が痛い。



◎2024 年 10 月 26 日 地元有力樹脂会社 SY 社からハロウィンのお菓子を提供いただいた。



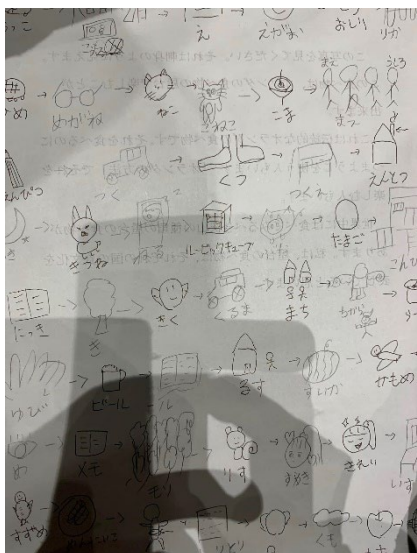
生産品のサンプルを見せていただいたが、生徒以上に理系講師が関心を持って見入っていて、質問が相次いだ。

こうした協賛は、生徒にも「地元企業」への意識づけになり有難い。

12 月にはクリスマスのアイスクリームケーキもいただいた。



◎2024 年 12 月 14 日 絵が好きなネパール人姉妹のために、学生講師が「絵しりとり」をやってくれた。



小 6 生には国語の暗唱・100 マス計算・ローマ字を教えています。

講師手作りの教材です。

元国語教師による百人一首もあります。

### 3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

◎定例の土曜学習会の授業だけでなく、保護者との親睦、関連団体・企業との連携を深める事が出来た。

◎会の最大目標でもある「生徒の家庭での自習習慣の獲得」のために、貴会助成で購入した iPad や寄贈 Let'sNote を ZOOM 授業のみならず、家での自習ツールとして活用できるように生徒には働きかけていく。

◎SNS での保護者連絡網は確立出来ていたが、新たに中 3 生については 2 者面談を実施した。

### 4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

◎生徒の個性や能力は、学習会だけでなく、課外のゲーム遊びなどで新しい発見をすることが多い。

外国ルーツ生と日本人中学生との「学年も国籍も超えた」交流が実現している。

◎行政でも的確な対応が出来ずに、当会に駆け込むようなケースが徐々に増えている。

グレーゾーンを含む発達障害を抱えた生徒などに対する対応が求められることが増えており、あくまで素人のボランティア団体でもあり、専門家との連携が課題である。

### 5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）